

高等学校 令和7年度
教科：地理歴史 科目：歴史総合
対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組
使用教科書：『歴史総合』（実教出版）

教科 地理歴史 科目 歴史総合
単位数： 3 単位

教科 地理歴史 の目標： 地理や歴史に関する諸事象について、社会的な見方や考え方を働かせ、課題を追究し解決する活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質や能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】現代世界の地域と世界の歴史の展開を理解し、諸情報を調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史の事象の意味・特色を多面的に考察し課題解決へ構想する力や、説明し議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】より良い社会実現への課題を解決する態度を養い、日本国民としての自覚、他国や他国文化を尊重することの大切さを自覚させる。

科目 歴史総合 の目標： 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化について、世界と日本を広い視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸情報から歴史に関する情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味・意義を時期・年代・現在との繋がりに着目して、多面的に考察したり、歴史的課題を解決までを視野に入れる構想力やその内容を説明したり、それらを基に議論する力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、より良い社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決する態度を養い、また多面的考察や日本国民としての自覚、他国や他国文化の尊重の重要性を自覚する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1編 第1章 【知識・技能】 18世紀頃の日本やアジアにおける生産と流通、江戸幕府の4つの口の貿易を基に、18世紀の日本から見た東アジアの政治・経済と社会を理解している。 【思考・判断・表現】 発問、ワークシート作成 等 【主体的に学習に取り組む態度】 討論、発表、ワークシート作成 等	・教科書、ワークシートの活用 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 定期テスト、提出物 等 【思考・判断・表現】 定期テスト、提出物 等 【主体的に学習に取り組む態度】 討論、発表、提出物 等	○	○	○	45
	第1編 第2章 【知識・技能】 18世紀頃の欧州・アメリカ大陸・オスマン帝国における生産と流通、アヘン戦争やペリー来航等のアジアと欧米諸国の関係を基に、18世紀前後世界の政治と社会を理解している。 【思考・判断・表現】 発問、ワークシート作成 等 【主体的に学習に取り組む態度】 討論、発表、ワークシート作成 等	・教科書、ワークシートの活用 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 定期テスト、提出物 等 【思考・判断・表現】 定期テスト、提出物 等 【主体的に学習に取り組む態度】 討論、発表、提出物 等	○	○	○	
	第1編 第3章 【知識・技能】 19世紀後半の欧州の動きと日本の明治政府の政策、日本と欧米諸国との外交関係等を基に、19世紀後半の欧州と日本との経済と社会を理解している。 【思考・判断・表現】 発問、ワークシート作成 等 【主体的に学習に取り組む態度】 討論、発表、ワークシート作成 等	・教科書、ワークシートの活用 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 定期テスト、提出物 等 【思考・判断・表現】 定期テスト、提出物 等 【主体的に学習に取り組む態度】 討論、発表、提出物 等	○	○	○	
	第1編 第4章 【知識・技能】 19世紀末から20世紀初頭にかけての欧米諸国の帝国主義の動き、日本と東アジアの関係、アジア諸国と欧米諸国の進出等を基に、19世紀から20世紀初頭にかけてのアジアの政治と社会を理解している。 【思考・判断・表現】 発問、ワークシート作成 等 【主体的に学習に取り組む態度】 討論、発表、ワークシート作成 等	・教科書、ワークシートの活用 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 定期テスト、提出物 等 【思考・判断・表現】 定期テスト、提出物 等 【主体的に学習に取り組む態度】 討論、発表、提出物 等	○	○	○	
	定期考査（中間・期末）			○	○		

2 学 期	第2編 第5章 【知識・技能】 第一次世界大戦の推移と大戦が世界に与えた影響、特に大戦後アメリカ主導のワシントン体制下において国際協調が進むなかで、日本は大陸での権益獲得を目指したことを理解している。【思考・判断・表現】 発問、ワークシート作成 等 【主体的に学習に取り組む態度】 討論、発表、ワークシート作成 等	・教科書、ワークシートの活用 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 定期テスト、提出物 等 【思考・判断・表現】 定期テスト、提出物 等 【主体的に学習に取り組む態度】 討論、発表、提出物 等	○	○	○	48
	第2編 第6章 【知識・技能】 国際協調体制の動揺と第二次世界大戦の展開、そして国際連合の成立後に米ソ対立の激化から冷戦が始まるなかで、日本に対する占領政策と国際情勢との関係を理解している。【思考・判断・表現】 発問、ワークシート作成 等 【主体的に学習に取り組む態度】 討論、発表、ワークシート作成 等	・教科書、ワークシートの活用 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 定期テスト、提出物 等 【思考・判断・表現】 定期テスト、提出物 等 【主体的に学習に取り組む態度】 討論、発表、提出物 等	○	○	○	
	第3編 第7章 【知識・技能】 冷戦の激化で核開発が進行、米ソ核戦争の危機が迫るなかで、AA諸国は第三勢力として存在感を増し西欧と日本は経済力をつけて、米ソの指導力が衰え、国際秩序が変化したことを理解している。【思考・判断・表現】 発問、ワークシート作成 等 【主体的に学習に取り組む態度】 討論、発表、ワークシート作成 等	・教科書、ワークシートの活用 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 定期テスト、提出物 等 【思考・判断・表現】 定期テスト、提出物 等 【主体的に学習に取り組む態度】 討論、発表、提出物 等	○	○	○	
	第3編 第8章 【知識・技能】 1970年代の米ソの緊張緩和からソ連のアフガニスタン侵攻で冷戦が再び深刻化した、ゴルバチョフのペレストロイカ改革がきっかけとなり東欧諸国の自由化、ソ連崩壊が起きたことを理解している。【思考・判断・表現】 発問、ワークシート作成 等 【主体的に学習に取り組む態度】 討論、発表、ワークシート作成 等	・教科書、ワークシートの活用 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 定期テスト、提出物 等 【思考・判断・表現】 定期テスト、提出物 等 【主体的に学習に取り組む態度】 討論、発表、提出物 等	○	○	○	
	定期考査（中間・期末）			○	○		
3 学 期	第3編 第9章 【知識・技能】 持続可能な社会の実現を視野に入れ、歴史的経緯を踏まえて、現在深刻化している人口問題、食料問題、経済格差の問題、環境問題等を理解している。【思考・判断・表現】 発問、ワークシート作成 等 【主体的に学習に取り組む態度】 討論、発表、ワークシート作成 等	・教科書、ワークシートの活用 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 定期テスト、提出物 等 【思考・判断・表現】 定期テスト、提出物 等 【主体的に学習に取り組む態度】 討論、発表、提出物 等	○	○	○	12
	定期考査			○	○		
合計							105